

小犬もいただく落ちたパン

マルコの福音書 7:24~30

並行記事： マタイの福音書 15:21~28

1. 問題： 悪霊に取り憑かれる

(1) 悪霊にとっての好適な環境

「悪い考え、殺人、姦淫、不品行、盗み、偽証、ののしり」 (マタイ 15:19)

(2) 悪霊は一人ひとりの弱さにつけこむ

犯罪、宗教、オカルト、論文盗用、いじめ…あらゆるところに

(3) 悪魔が本気になった時に勝てる人はいない

アダムとエバ:神の最高傑作であったのに。アブラハム、モーセ、ダビデも



神のことばではなく、サタンのことばを信じた

食べる ⇄ 信じる

2. 無力： スロフェニキアの女

(1) ツロ、シドン、カナン人： ユダヤ人にとって忌まわしい名前

(2) 女性： 社会的立場が低い

(3) ユダヤ人にもなかった信仰： 「ダビデの子(子孫)」=メシアの称号



今日も残るシドンの遺跡

3. 試練： 心がくじける出来事

(1) 弟子たちが追い返そうとする

(2) イエスの沈黙

(3) 「子どもたちのパンを小犬に上げるのはよくない」 私は犬！？

4. 発見： 希望の光

(1) イエスは「ノー」と言われたわけではない (順番を待て)

(2) 「小犬」は家族の一員

アブラハム:「塵^{ちり}や灰」 ダビデ:「死んだ犬」「一匹の蟹^{かに}」

(3) 「小犬」もこぼれたパン屑はいただける

主は御用聞きではない



自分の分際を知る



5. 賞賛

(1) 主は期待しておられたからこそ試された

(2) 「あなたの信仰は見上げたものである」 (マタイ15:28)

① 頼るべき方に頼った ② 自分の分をわきまえた ③ あきらめなかった

(3) 娘の危機がなかったなら…

主は待っておられる

ヨハネの福音書6:37父がわたしに与えて下さる者は皆、わたしに来るであろう。そして、わたしに来る者を決して拒みはしない。(口語訳)

悲しみよ 水野源三

悲しみよ、悲しみよ 本当にありがとう
お前が来なかったら つよくなかったなら
私は今どうなったか
悲しみよ、悲しみよ お前が私を
この世にはない大きな喜びが
かわらない平安がある 主イエス様の
みもとにつれて来てくれたのだ



福音メッセージ 小犬もいただく落ちたパン

マルコの福音書 7 章 24 節～30 節 【新改訳改訂第3版】

24 イエスは、そこを出てツロの地方へ行かれた。

家に入られたとき、だれにも知られたくないと思われたが、

隠れていることはできなかった。

25 汚れた霊につかれた小さい娘のいる女が、

イエスのことを聞きつけてすぐにやって来て、その足もとにひれ伏した。

26 この女はギリシヤ人で、スロ・フェニキヤの生まれであった。

そして、自分の娘から悪霊を追い出してくださるようにイエスに願い続けた。

27 するとイエスは言われた。「まず子どもたちに満腹させなければなりません。

子どもたちのパンを取り上げて、小犬に投げてやるのはよくないことです。」

28 しかし、女は答えて言った。「主よ。そのとおりです。

でも、食卓の下の小犬でも、子どもたちのパンくずをいただきます。」

29 そこでイエスは言われた。「そうまで言うのですか。それなら家にお帰りなさい。

悪霊は あなたの娘から出て行きました。」

30 女が家に帰ってみると、その子は床の上に伏せっており、悪霊はもう出ていた。